

浙江友好交流員 山田慶

レポート 12月

12月の杭州は、とても天気が良く、気温もまだまだ暖かい日が続いています。私の体感では、11月の寒さと比べてもそれ程変化は感じられず、昼の時間帯は20度を超える日も多くまだまだ本格的な冬は先のようなようです。

12月18日には、浙江大学内で留学生による文化祭が開催されました。様々な国の留学生が自分の国の料理や歌、ダンス、工芸品などを紹介するというものでした。私も日本人側の実行委員としてこの文化祭に参加しました。これに参加して初めて分かったのですが、この文化祭は、学校側が各国の学生団体に資金を提供し、それを使って各自で準備をしてもいいというものであり、さらに、そこで作った料理は無料で食べることが出来るということで、とても驚きました。私が通っている日本の大学では、ここまで太っ腹な行事は無いので、中国の心の広さを感じました。私たちは、炊き込みご飯で作ったおにぎりと、豚汁、たこ焼きを作りました。下の写真はその文化祭の様子です。



浙江友好交流員 山田慶 レポート 12月

文化祭の様子は言葉で聞くよりも、その目で見た方が分かりやすいので、今回は写真を沢山載せることにしました。

話は変わりますが、最近は大学近くの繁華街などではなく、そうした場所から少し離れた通りやそこにあるお店を見て回ることが多くなりました。理由としては、主要な場所には何度も行ったため飽きてしまったということもありますが、少し離れた通りの方が面白いお店が多いということが主な理由です。栄えた場所には、確かに人気のお店が立ち並ぶことが多く、人も多いです。しかし、そうした場所から少し離れてみるだけで、大分雰囲気も変わってきます。私は洋服が好きなので、よくそうしたお店を見ることが多いのですが、繁華街の方では、日本とあまり変わらない雰囲気の洋服屋が多いのに比べ、少し離れたところに行ってみると、凄く安い値段で売っていたり、中国独自のブランドを出していたり、さらには、個人経営のお店が多くなるので値引き交渉も出来たりなど、繁華街では味わえない楽しさがありました。



上の写真が、そうした外れの場所にあったお店です。右下が夜市で、雑貨から本、洋服、ネイルなど本当に様々な種類のお店が立ち並んでいました。左が子供服のお店で、古着屋のような雰囲気があり、繁華街のほうのそれと比べると、こちらの方が特殊なブランドを扱っていました。右上が弁当屋で、24.9元の弁当が売っていました。しかし、別の食堂に行けば結構豪華な食事ができるので、弁当の値段にしては少し高いかなと感じました。

このように、通りを1本変えてみるだけでいつもと違った雰囲気を味わえるので、もし旅行で中国に来た際には、本やネットに載っている人気の場所だけでなく、ふらっと外れの道を選んでみるのも面白いと思います。